

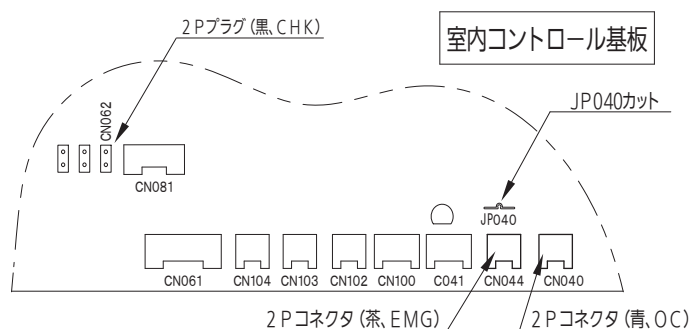
# 試運転

- 試運転は、室外機に添付の説明書（「据付工事説明書」または「試運転担当者のかたへ」）を参照して行ってください。
- 試運転は、お客様に立ち会いをお願いして行ってください。そして、「取扱説明書」の内容を説明し実際に操作していただいでください。

## <1. 試運転の前の注意事項>

- 漏電しゃ断器は、試運転を行う5時間以上前に入れてください。（クランクケースヒーターに通電するため）
- 現地接続配管のリーク検査、真空引き、冷媒チャージ後、室外サービスバルブは全開にしてください。（ただし、室外ユニット単数設置の場合、バランス管は使用しませんので全閉のままにしてください。）
- 室内外操作線（室内ユニット6P端子板のU1, U2端子）にAC200Vの配線接続をしていないか確認してください。

\* 誤ってAC200Vを印加した場合は室内コントロール基板のヒューズ（0.4A）を溶断して基板を保護するようにしています。配線接続を修正した後、基板に接続されている、2Pコネクタ（青、OC）をはずして、2Pコネクタ（茶、EMG）に差し替えてください。茶コネクタに差し替えても運転できない場合には、ジャンパー線（JP040）をカットしてください。（作業は必ず運転を停止して漏電しゃ断器を切ってから行ってください。）



## <2. リモコン試運転設定>

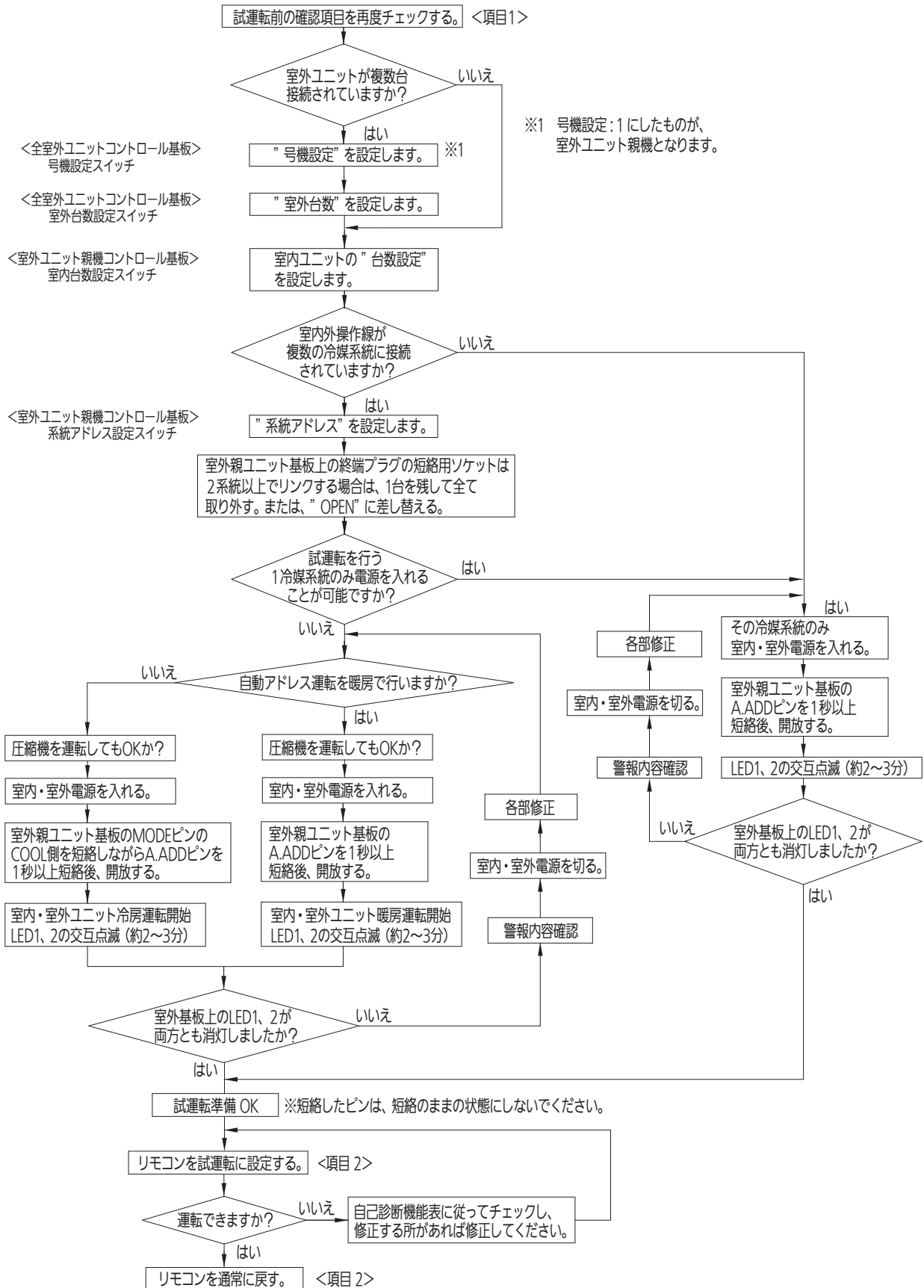
1. リモコンの **点検** ボタンを4秒以上押してから、**運転/停止** ボタンを押してください。
  - 試運転中は液晶表示部に“試運転”と表示されます。
  - 試運転モードでは、温度調節はできません。（機器に無理がかかりますので試運転時以外は使用しないでください。）
2. 試運転は暖房、冷房のいずれかの運転モードでご使用ください。  
（注）電源投入後および運転停止後、約3分間は室外ユニットの運転はしません。
3. 正常に運転できない場合には、リモコン液晶表示部にエラーコードが表示されます。  
<4. 自己診断機能表と処理方法>を参照して修正してください。
4. 試運転終了後は再度 **点検** ボタンを押して液晶表示部の“試運転”消灯を確認してください。  
（このリモコンは連続試運転を防止するために、60分タイマー試運転解除機能付となっています。）

※インバーター室外ユニットの試運転は、圧縮機の運転を10分以上行ってください。（欠相確認のため）  
ワイヤードリモコンでの試運転は、天井パネルを取り付けなくても運転可能です。（“P09”表示は出ません。）

# 試運転 (つづき)

## <3.試運転フローチャート>

- 系統アドレスが重複したり、室内ユニットの台数設定が合わないと言報となり運転しませんので、設定には注意してください。
- 設定の詳細については、室外機に添付の説明書を参照してください。
- 室内ユニットの基板上での設定はありません。



# 試運転 (つづき)

## < 4. 自己診断機能表と処理方法 >

処置後は、電源を入れ直してください。(自動復帰警報ではありません)

ワイヤード リモコン表示	ワイヤレス リモコン表示	原因		処置方法
			親・子リモコン 制御の場合	
全く表示 されない	全く表示 されない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● リモコンが正しく接続されていない。</li> <li>● 室内ユニットの電源が入っていない。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 正しく接続してください。</li> <li>● 室内ユニットの電源を入れる。</li> </ul>
“設定中” が消えない(10分程度)		● アドレス設定が終了していない。室内外能力の不一致、他。		● 室外基板上的 LED1, 2表示(注1)を確認し、配線・室内外能力をチェックする。
“E01” 表示	運転ランプ 点滅	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自動アドレスが終了していない。</li> <li>● 室内外接続線の断線・接続不良。</li> <li>● リモコンが正しく接続されていない。(リモコン受信不良)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● リモコンおよび室内外接続線の配線を確認する。</li> <li>● 自動アドレスを行う。</li> </ul>
“E02” 表示		● リモコンが正しく接続されていない。(リモコンから室内ユニットへの送信不良)		● 正しく接続してください。
“E09” 表示			● 親リモコンが2台設定されている。	● < 6-2 親・子リモコン制御 > の項を参照して正しく設定する。
“E04” 表示	準備中ランプ 点滅	● 室内外接続線または信号線の断線、接続不良。		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 正しく接続してください。</li> <li>● 基本配線図を参照して正しく接続する。</li> </ul>
“E06” 表示				
“E15” 表示		● 室内ユニット台数が設定より少ない。		● 室内ユニットの台数を正しく設定する。
“E16” 表示		● 室内ユニット台数が設定より多い。		
“E20” 表示	● 室内ユニットからのシリアル信号を全く受信できない。		● 室内ユニットに電源が入っているか、室内外接続線は正しいか確認する。	
“P05” 表示	運転ランプ・ 準備中ランプ 交互点滅	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 室外ユニットの3相電源が、逆相または欠相になっている。</li> <li>● ガス欠。</li> </ul>		● 室外ユニットの3相電源の2相を入れ替えて正しく接続する。
“L02” 表示	運転ランプ・ 準備中ランプ 同時点滅	● 室内・室外ユニット機種の不一致。		● 室内・室外ユニットの機種を確認する。
“L07” 表示		● 室内ユニットにリモコンわたり配線接続されているが、個別設定になっている。		● 自動アドレス設定を行う。
“P09” 表示	タイマーランプ ・準備中ランプ	● 室内ユニットの天井パネルのコネクタが正しく接続されていない。		● 室内ユニットの天井パネル、コネクタを正しく接続する。
“P12” 表示	交互点滅	● 室内ユニットのDC送風機異常。		<ul style="list-style-type: none"> <li>● ファン保護材が外してあるか確認する。</li> <li>● DC送風機-基板間の配線を確認する。</li> </ul>

※上記の処置をしても正常に運転しない場合、または上記リモコン表示以外の表示がでる場合には、別冊「テクニカルガイド」を参照してください。

● エラー発生時の室外基板上的LED1, 2の表示について (※ 自動アドレス設定中は、室外基板上的LED1, 2が交互点滅します。)

「LED1が4回点滅」⇔「LED2が22回点滅」を繰り返している場合は、「E22警報」を表します。 (LED1の点滅回数は警報の種類(2:P/3:H/4:E/5:F/6:L)、LED2の点滅回数はエラー番号を意味します。)
注1) アドレス設定中にエラーが発生した場合は、上の表示はされず、次のような表示になります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「E15警報」: LED 1, 2 が同時点滅 (0.25秒ON / 0.75秒OFF)</li> <li>● 「E20警報」: LED 1, 2 が同時点滅 (0.75秒ON / 0.25秒OFF)</li> <li>● その他の警報: LED 1, 2 が同時点滅 (0.5秒ON / 0.5秒OFF)</li> </ul>

## < 5. アドレス設定 >

### < 5-1 アドレススイッチの設定および室外ユニットからの自動アドレス設定方法 >

室外ユニットに添付されている説明書を参照してください。

## < 5. アドレス設定 (つづき) >

### < 5-2 リモコンからの自動アドレス設定方法 > 冷媒系統ごとに個別選択して自動アドレスを行う場合

室内外ユニット全て電源を入れ、リモコンで設定してください。(自動アドレス中は、リモコンに“設定中”と点滅表示します。)  
(電源を入れてから1分30秒以上待ってからアドレス設定してください。)

(冷媒系統ごとのアドレス設定方法)

- ・ リモコンのタイマー時間 **▲**+ **点検** ボタンを同時に (4秒以上) 押します。
- ・ 温度設定 **▲**/**▼** ボタンどちらかを押してください。(項目コード “A1” 表示: 系統別自動アドレス)
- ・ 自動アドレスしたい系統 (室外ユニット) の系統番号を **ユニット選択** ボタンで選ぶ。
- ・ **セット** ボタンを押すと、その冷媒系統の自動アドレスを行ないます。(自動アドレスが終わると通常の停止に戻ります。)
- ・ 次の系統も同様にアドレス設定してください。  
(アドレス設定後1分30秒以上待ってから運転を開始してください。)

## < 6. その他の設定方法 >

### < 6-1 室内・室外ユニットの組み合わせ番号の表示方法 (番号記入のお願い) > (自動アドレス完了後)

複数台設置される場合、個々の室内・室外ユニットの組み合わせが確認しやすいよう、油性マジック等の消えにくいもので、室内・室外ユニットの対応番号を室外コントロール基板の系統アドレス番号と対応させ、室内ユニットの確認しやすい場所 (室内ユニットのネームプレートの近辺など) に表示してください。

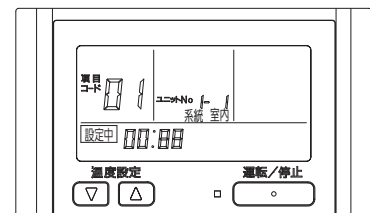
(例) 1-1 (室外機系統: 1-室内機番号: 1)、1-2・・・、 2-1、2-2・・・

※メンテナンス時に必要となります。必ず表示するようにしてください。

ワイヤードリモコンの場合

(リモコンでの室内ユニットのアドレス確認方法)

- ・ **点検** ボタン + **換気** ボタンを4秒以上押し (簡単設定モード)
- ・ **ユニット選択** ボタンで室内アドレスを指定します。  
(ボタンを押すごとに1-1、1-2・・・2-1、2-2・・・と表示し、  
選択された室内ユニットのみ、室内ファンが運転します。)
- ・ 再度、**点検** ボタンを押すと通常モードに戻ります。



### < 6-2 親・子リモコン制御 > (複数のリモコンを設置する場合)

1台もしくは複数台の室内ユニットを複数のリモコン (最多2個まで) で操作することができます。  
(その中のひとつは、子リモコンに設定してください。)

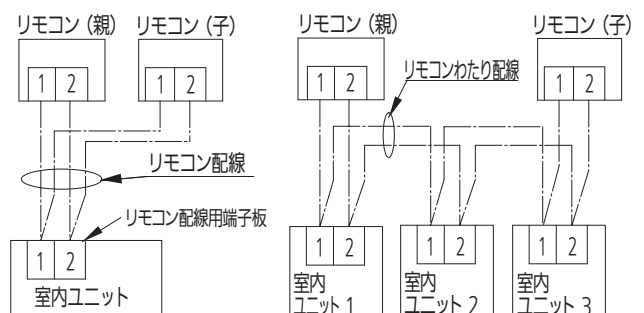
※詳細は、リモコンに付属の説明書を参照ください。

(ワイヤードリモコンの子リモコンへの設定方法)

- ・ **セット** + **運転切換** ボタンを同時に4秒以上押します。
- ・ 温度設定 **▼**/**▲** ボタンで項目コード “01” を指定します。
- ・ 時間 **▼**/**▲** ボタンで設定データを “0001” (親) から “0000” (子) に変更します。
- ・ **セット** ボタンを押します。(表示が点滅から点灯に変われば OK)
- ・ **点検** ボタンを押します。

室内ユニット1台を  
リモコン2個接続して  
操作する場合

同時運転マルチをリモコン  
2個接続して操作する場合



### < 6-3 ワイヤードリモコンでのファン風速設定方法 > ※ユニットが停止中に行ってください。

(風速タップ設定方法)

- ・ リモコンの **点検**+**セット**+**取消** ボタンを同時に (4秒以上) 押します。
- ・ **ユニット選択** ボタンを押すごとに室内ユニットが選択されます。  
(この時、選択しているユニットのファンが回転します。)
- ・ 温度設定 **▲**/**▼** ボタンを押して、項目コード “5d” を選択します。
- ・ 時間 **▲**/**▼** ボタンを押して、右表より正しい設定コードを選択してください。
- ・ **セット** ボタンを押します。(表示が点滅から点灯に変われば OK)
- ・ **点検** ボタンを押します。通常の状態に戻ります。